

# 社協だより

第70号 平成25年3月1日発行

編集・発行



社会福祉法人  
名取市社会福祉協議会

名取市増田字柳田80 市役所西棟  
TEL022-384-6669 FAX022-384-6844  
<http://www.natorisyakyo.or.jp/>



H24.11.29 名取市文化会館中ホール

2年ぶりに名取市社会福祉大会を開催し、地域福祉に多大な功績のあった方々に対し、表彰状を贈呈いたしました。(写真：上・下右端)

名取市老人クラブ連合会と共催で名取市老人クラブ芸能大会を開催しました。(写真：下左端・中央)

2年ぶりの開催となった社会福祉大会と芸能大会、続けることの大切さ、皆が集う時間の尊さを感じながら、ひとつひとつの事業を行ってまいりました。



# いろいろ行いました！ 社協事業のご報告

～平成24年度下半期の  
事業について報告します～

平成24年度は昨年度中止となった社会福祉大会や老人クラブ芸能大会など、あらゆる事業が復活しました。そんな平成24年度下半期の事業をご報告します。



## 第二十八回 名取市社会福祉大会

東日本大震災の影響で中止にした昨年度を経て、「いつもどおり」に戻るひとつとして、第三十八回名取市社会福祉大会を十一月二十九日名取市文化会館中ホールにおいて開催しました。当日は、日頃より各分野で福祉に功績のあった個人、団体合わせて七十二名に対し、社会福祉協議会ほか五団体から表彰状、感謝状の贈呈を行いました。

また、記念事業として青森県五所川原市出身の二人組ミュージシャン「サエラ」による復興コンサートを行いました。参集した約四百名のみなさんは、歌謡曲から童謡、民謡まで様々なジャンルの歌に聴き入っていました。



## 第二十九回名取市 老人クラブ芸能大会

十月十七日、名取市文化会館大ホールにおいて、名取市老人クラブ芸能大会を名取市老人クラブ連合会とともに共催しました。

今回は名取市内の老人クラブ会員だけでなく、隣の山形県から山形県民踊協会の皆様にも出演いただき、山形県ならではの「花笠音頭」や「天童花駒踊り」が披露されました。

この共演は震災直後に山形県の老人クラブ会員の皆様から閉上・下増田の老人クラブ宛てに「元気袋」（手紙やタオルが詰められた手作りのお袋）をいただいたことがきっかけとなっており、「少しずつ元気がなってきた老人クラブの活動を見てもらおう」との思いから実現しました。

名取市内の老人クラブからは四十一演目、三百二十五名の方が出演しました。震災前の芸能大会と比較すると、団体での出演数が少なくなりましたが、会場には以前と変わらない程多くの方が集まり、舞踊や歌謡、民謡を楽しみました。



## 視察研修の受入

震災で経験した支援活動や災害ボランティアセンターの活動について今後の備えに役立てたいと、名取市社協や名取市の民生委員に対して各方面からの視察が多数ありました。

特に、震災直後、地域内の一人暮らしの高齢者の方など見守りが必要な方々の安否確認や、避難所に避難された方々の支援活

### 「老人クラブに関するお問合せ先」

名取市老人クラブ連合会事務局  
(名取市社会福祉協議会内)

TEL022・384・6669



## 【平成24年度視察研修受入状況】

日 程	内 容
H24. 7.24	桐生市社協視察研修受入
H24. 8.22	上山市民児協理事会視察研修受入
H24. 9.19	和歌山県新宮市民児協視察受入
H24. 9.27	函館市民児協視察受入
H24. 9.28	上山市配食ボランティア視察研修受入
H24.10. 6	富山県高岡市戸出地区民児協視察受入
H24.10.13	石川県白山市光野地区民児協視察受入
H24.10.26	岩手県一戸町民児協視察研修受入
H24.11.22	茨城県立緑岡高等学校震災学習受入 仮設住宅の訪問受入調整

動に尽力された民生委員の皆様に対して同じ民生委員をされている方から「当時の活動の様子を教えてください」といった形での問合せが多くあります。

今後起こり得る自然災害に備えるため、震災時に民生委員がどのような行動をとったのか等、より具体的な話を聞かれる場合もあります。

東日本大震災時の経験をより多くの方々に伝えていく、視察受入はそつした活動にもなっています。

### 「いっぽく堂」開催

名取市から寝たきりの高齢者や認知症の高齢者等を支える家族を対象とした事業の委託を受け、社協では「いっぽく堂」という愛称を付けて実施しています。

介護者同士の交流によりリラックス・リフレッシュにつながることを目指し実施している事業ですが、三年目を迎えた今年度は内容を一新、リフレッシュを増やし生花・軽体操・コンサートなど「いっぽく堂」ならではの企画にも取り組みました。

特に、映画を見に行こう、の回では参加者の方から「(最近の)映画館の利用の仕方が初めて分かった」「映画なんて何十年ぶり」といった感想をいただき、今回の企画が参加者の皆様のリフレッシュや社会参加の機会として利用いただけたと実感して



います。

今後も参加者の声を活かし、「いっぽく堂」を運営してまいります。



### 「いっぽく堂」に関するお問合せ先

指定居宅介護支援事業所

ほっとなとり

(名取市社会福祉協議会内)

TEL022・384・6669

### 介護予防教室開催

名取市から委託を受け運営している「名取南地域包括支援センター」(以下南包括)で今年度も介護予防教室を実施しました。介護予防教室は六十五歳以上の介護認定を受けていない方を対象に、南包括の担当地区である三地区(館腰・名取が丘・愛島)で開催しました。

各地区月一回の開催のため、教室で実施

した内容を参加者の方が自宅で継続できるよう、簡単でわかりやすい、内容を意識して体操、脳トレなどを行いました。

各地区七回シリーズで開催した教室でしたが、最終日の日には、参加者の方から「足の体操をするようになってしまっけならなくなりました!」「皆の顔が見られると思うと楽しみがなかった」といった嬉しい感想をいただきました。(介護予防教室に関する詳しい内容は社協のホームページでもご覧いただくことができます。)

### 「介護予防教室」に関するお問合せ先

名取南地域包括支援センター

(業務受託法人)

名取市社会福祉協議会

TEL022・399・7570



# “つながり”が 生むストーリー ～様々な物語がありました～

“縁” “結 (ゆい)” “絆” …これらはすべて、人との、地域との  
“つながり”を表す言葉です。

社協の仕事も、たくさんの“つながり”から生まれ、育てられてきました。それは偶然のものであったり、人の思いによって結ばれたものであったり…。そんな“つながり”から生まれた活動についてご紹介します。



## 姉妹都市としての つながり

名取市は、山形県上山市、和歌山県新宮市と姉妹都市の盟約を結んでいます。社協としてこれらの姉妹都市と一緒に活動をする機会はありませんでしたが、今年度はその「つながり」を改めて感じる一年となりました。

名取市文化会館の敷地内に新しく建設された「希望の家」のキッズコーナーには、子供の遊び道具がまだまだ揃っていない状況でした。

その状況を目にした時、震災時に姉妹都市である新宮市の社協をとおして名取市災害ボランティアセンターに手作りおもちゃを寄贈してくれた団体の「今後も必要などころがあれば支援いたしますので」という言葉を思い出し、状況をお伝えしたところ、



喜んで快諾していただき、今回、改めて手作りおもちゃを希望の家に頂戴しました。縁と縁を結ぶことで良いものが完成されていくことを実感することができ、社協が行っている仕事の根底にあるものを改めて認識したところです。



上山市は、山形県の南東部に位置する人口約三万三千人の市です。上山市社協では名取市社協同様一人暮らし等の高齢者を対象に配食サービスを実施しています。震災時、名取市社協が運営する災害ボランティアセンターに足を運んでくださった上山市社協の職員の方が名取市社協で実施している配食サービスについて興味を持ち、視察研修の申し入れがありました。

九月二十八日名取市役所の会議室で行われた研修会では、上山市から配食サービスボランティアの皆様、上山市役所職員、上山市社協職員など二十二名が、名取市から

も配食サービスボランティア二名と社協職員が参加しました。

互いの活動内容の報告や「配達した時に留守だった場合はどうしているの?」といった具体的な質問があり、研修時間はあっという間に過ぎ去っていきました。また、参加した皆様にとっては自分たちの日頃の活動を振り返る機会にもなったようでした。

離れた場所であっても、同じ活動を行っている方々がいるということ、同じ志で行動している方々がいるということ、とても心強く感じます。今回の研修会はこうした遠く離れた仲間との「つながり」を実感できた一日となりました。



## 協定でのつながり

名取市社協では平成二十三年七月一日に兵庫県伊丹市社会福祉協議会と「大規模災害の発生時における相互支援に関する協定」を締結しています。

この協定は、名取市や伊丹市など空港のある国内七市の地方自治体で災害時協定を締結していることをきっかけとし、社協同士でも協定を結び官民共同での支援活動を展開していけるようにと締結されたものです。協定では、ボランティア・職員の派遣、物資の提供などの支援や連携に関する内容が含まれています。

この協定をきっかけに伊丹市との交流が深まり、名取市内の小・中学生の伊丹市への「児童招待事業」などの活動を展開してきました。（平成二十三年八月、二十四年三月の二回実施）

昨年六月、伊丹市社協から「伊丹市の高校生や大学生から夏休みを利用して名取市の皆様に何かお手伝いをしたいという声があがっている。何かできることはないでしょうか？」という連絡がありました。名取市社協では、その頃ちょうど住民の皆様から「夏祭りをしたい」という要望があった美田園第二仮設住宅の自治会と調整し、八月二十四日に夏祭りを開催していただく

ことになりました。

夏祭り当日は、ボランティア・社協職員など総勢二十三名の方が伊丹市からお越しいただき、屋台やゲームなど夏祭りを盛り上げて下さいました。レクリエーションのフラダンスでは住民の方も飛び入りで一緒にダンスを踊るなど、皆でわいわい賑やかな一日となりました。

今回の夏祭りのように、住民の皆様の声と「お手伝いをしたい」という声を結び付けていくこともまた、社協の役割なのだと思える一日となりました。



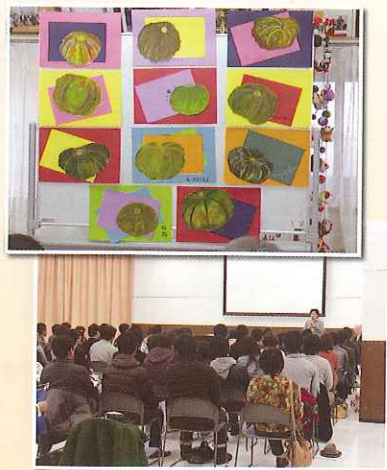
## 災害ボラセンからのつながり

震災後の平成二十三年三月十八日から八月六日まで運営をおこなった名取市災害ボランティアセンター（災害ボラセン）、約五カ月間で六千人を超える方々がボランティアとして登録し、名取市の復旧・復興のため活躍してくださいました。そういったボランティアの中には不思議な縁で活動につながった方、現在も当時とは違った形で活動を続けている方がいます。そんな災害ボラセンにまつわる「つながり」についてご紹介します。

東北福祉大学予防福祉健康推進推進室に所属する臨床美術士の菅原布美子さんは、美田園第二仮設住宅の集会所で「あーと・サロンにほりぼ」を定期的に開催しています。これは、オイルパステルや絵の具を利用して絵を描く体験で、参加する住民の皆様にとっては新鮮で楽しい時間となっています。

菅原さんはもともと名取市災害ボラセンで津波被害にあった家屋の泥だし作業などを行っていたボランティアでした。災害ボラセンが終了した後「引き続き被災された方へ臨床美術士を活かした支援ができないか」と社協職員に声をかけてくださり、現

在の活動につながっています。災害ボラセンがあったからこそ今があるのですが、改めて一つ一つの出会いの大切さを感じます。



静岡県浜松市に本社がある株式会社アイジーコンサルティング、役員の方の実家が名取市閑上という縁により名取市災害ボラセンで活動いただいた企業です。遠方から数回にわたり名取市に来訪していただきました。

また、昨年十一月には社員研修として再び名取市にお越しいただき、名取市の復興状況などについて社協職員からお話しさせていただきました。

こうした関わりもまた、「つながり」であり、そこから新たな活動が生まれてきます。このような縁と縁、人と人をつなぐ架け橋となるのが社協であり、たくさんの仲間によって社協の仕事は成り立っています。今後も、こうした「つながり」を大切に、地域福祉活動を展開してまいります。

# たくさんのご協力 ありがとうございました

10月から始まった赤い羽根共同募金、まだまだ震災の影響が大きく大変な状況の中、「できる範囲」でのご協力をお願いしたところ、多くの皆様からあたたかいご協力をいただきました。本当にありがとうございます。

平成24年度  
赤い羽根共同募金実績額  
(平成25年1月末現在)  
**6,342,435円**

## 【平成24年度募金種別内訳】

募金種別	募金額
戸別募金	6,096,855円
職域募金	165,576円
学校募金	65,793円
個人募金	6,150円
窓口募金等	8,061円
<b>合計</b>	<b>6,342,435円</b>

## 【戸別募金の地区内訳】

地区	募金額
増田	1,122,100円
増田西	1,085,940円
名取が丘	605,280円
閑上	73,800円
下増田	335,000円
館腰	873,500円
愛島	483,375円
高館	553,500円
相互台	391,000円
ゆりが丘・みどり台	332,160円
那智が丘	241,200円
<b>戸別募金合計</b>	<b>6,096,855円</b>



ご協力いただいた募金は市内のボランティア団体の活動や小学校での福祉体験学習、など幅広く活用させていただきます。

## 【理事】

役職	氏名	所属/区分
会長	佐々木 秀典	学識経験者
副会長	鈴木 圭一	学識経験者
副会長	松浦 美恵子	名取市民生委員児童委員協議会
常務理事	今野 三幸	特別会員
理事	小野寺 清	名取市民生委員児童委員協議会
//	佐々木 哲郎	名取市民生委員児童委員協議会
//	高田 弘二	名取市行政区長会連合会
//	齋藤 隆二	名取市行政区長会連合会
//	郷内 英夫	名取市行政区長会連合会
//	中澤 庄一	名取市身体障害者福祉協会
//	鈴木 治子	社会福祉法人みのり会
//	荘司 千鶴子	名取市ボランティア連絡会
//	武部 尚子	特別会員
//	倉持 千恵子	特別会員
//	佐藤 宏郎	学識経験者

## 【監事】

役職	氏名
監事	越河 いなみ
//	小原 久子

※理事・監事のみ氏名を掲載しています。

社会福祉法人名取市社会福祉協議会には市内から選出された理事十五名、監事二名、評議員三十五名の役員がおります。役員の任期は二年で、平成二十四年十月二十二日から新役員が就任しています。  
「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」を目指し、役職員一同精一杯取り組んでまいります。

# 名取市社会福祉協議会 役員改選の報告

# あたたかい善意 ありがとうございます

社会福祉協議会に寄付をしていただいた方々を掲載しました。

(平成24年9月1日～平成25年1月31日の間)

善意の気持ちを大切に、皆さまに喜んでいただけるような活用をさせていただきます。

★平成24年8月31日までの寄付については、「社協だより第69号」に掲載済みです。



## 現金の寄付

(敬称略)

(敬称略)

月日	氏名	金額(円)
H24.9.5	第43回増田西地区納涼盆踊り祭り実行委員会 実行委員長 渡邊 利男	73,900
9.13	マルハン名取店 スタッフ一同	9,055
9.18	みちのくフリーマーケット協会(増田西)	5,000
9.26	京浜精密工業(株)(横浜市)「納涼祭のチャリティー売上金」	131,879
10.1	名取災害支援センター(館腰)	9,007
10.4	宮城県名取北高等学校父母教師会	34,898
10.6	高岡市戸出地区民生委員児童委員協議会(富山県)	50,000
10.17	寿教室(愛島公民館)	1,621
10.19	グラウンド・ゴルフ名取市協会 代表 佐々木常夫	2,100
10.26	伊丹有岡ライオンズクラブ(伊丹市)	652,241
10.31	名取災害支援センター(館腰)	12,518
11.2	社会福祉法人竹清会 理事長 矢沢きよみ	30,000
11.5	名取市地域農産物等消費拡大推進協議会 *秋まつりポン菓子売上	3,619

月日	氏名	金額(円)
11.9	社会福祉法人神戸市社会福祉協議会 理事長 今井 鎮雄	10,000,000
11.12	長田 勝夫(館腰)	20,000
11.14	一閑張り教室(名取が丘公民館)	437
11.19	増田西婦人会 会長 橋本 公子	7,000
11.21	本郷老人クラブ福寿会 会長 高橋 享「恵の箱」	16,147
11.26	那智が丘公民館まつり コーヒーコーナー係	6,000
11.30	グラクソ・スミスクライン(株)(東京都)	129,000
12.4	増田グラウンド・ゴルフ愛好会	3,100
12.6	箱塚老人クラブ若草会	11,155
12.10	増田婦人会 会長 太田恵美子	30,800
12.12	愛島婦人会 会長 大久あき子	10,000
12.14	(有)エンゼル 代表取締役 細目 章子 *店内設置「善意銀行募金箱」	5,776

※その他、匿名希望の方から寄付金(4件/14,972円)をいただきました。

## 物品の寄付

(敬称略)

月日	氏名	物品名	払い出し先
H24.9.14	メガネの相沢 名取店 代表取締役社長 相澤 博彦	老眼鏡クーポン券 20組	市内高齢者
10.9	富士重工関連労働組合連合会 会長 北川 秀一	スバルディアスワゴン1台	なとり復興支援センターひより
10.24	上余田婦人会	雑巾 100枚	名取市あけぼの保育所 名取市増田保育所 増田児童センター
12.14	(株)久米設計東北支社(仙台市)	タオル 30枚	社会福祉法人宮城福祉会
H25.1.15	荘司 武彦(増田)	加湿器 1台	社会福祉事業に活用

※その他、匿名希望の方から物品(5件/タオル、おしぼり、尿とりパット、女性下着、ガスコンロ)をいただきました。

## ★車両の寄付をいただきました

富士重工関連労働組合連合会様の福祉カンパ活動・車両寄贈事業として、組合員22,000人の方々から車両(スバルディアスワゴン)の寄付をいただきました。「東日本大震災の復興支援活動に活用してほしい」との思いで頂戴した車両になります。

現在は、なとり復興支援センターひよりにて使わせていただいております。



# 名取市社会福祉協議会からの **ご案内**

～福祉のまちづくりを行っています～



## 配食サービスのボランティアを募集します！

社会福祉協議会では、一人暮らし等の高齢者の方へお弁当を配達する「配食サービス」を実施しています。「配食サービス」は、運転ボランティアと配達ボランティアが二人一組となりお弁当を届けます。一人暮らし等の高齢者の方へ声かけをしながらお弁当を配達することで、高齢者の方と地域とのつながりを生む活動でもあります。今回、この「配食サービス」で活躍して下さるボランティアを募集します。1日体験も可能となっています。ぜひお問合せください。



**【活動日時】 毎週火・木曜日 10:30～12:30**

※ボランティアは3か月に一度の打合せ会で自分が活動する日を選択します。

**【お問合せ】 名取市社会福祉協議会へお電話下さい。**

※詳しい内容はホームページでもご覧いただけます。



## 訪問入浴サービスを知っていますか？



訪問入浴サービスは、入浴設備付の専用車両でご自宅を訪問し、お部屋の中で入浴いただくサービスです。看護師を含めた3名のスタッフが訪問し、横になったまま入浴することが可能なため、重度の障がいのある方や寝たきりによりご自宅での入浴が難しい方であっても、ご自身のお部屋で安全・安心に入浴することができます。

訪問入浴は、清潔保持・血行促進はもちろん、仰向けで入浴することにより体へ負担が少なく、精神的なリラックス・リフレッシュ効果があります。

指定居宅サービス事業所ほっとなとりでは、障がいのある方、高齢の方を対象としてサービスを実施しております。サービスの利用を希望される方からの相談を随時うけたまわっています。ご希望がありましたら専門スタッフが自宅に伺っての相談も可能です。ぜひお問合せください。

【お問い合わせ、ご相談、応募先】

**社会福祉法人 名取市社会福祉協議会**

〒981-1292 名取市増田字柳田 80 番地 TEL 022 - 384 - 6669

<http://www.natorisyakyo.or.jp/>